

質問・要望書と長浜市防災危機管理局の文書回答（質問事項について8月8日）

長浜市の避難対象地域で戸別訪問をしてきました（約7,000世帯、対象地域の75%）

戸別訪問で聴いた市民の皆さんの声を基に 美浜原発3号の運転再開に反対するよう強く求めます

長浜市長 浅見 宣義 様

日頃から市民の安全と、琵琶湖を守るためにご尽力いただき感謝しています。

関西電力は、美浜3号機の特重施設につき当初の予定を2か月早めて完成したとして、7月28日から運用を開始し、原子炉を8月10日に起動すると発表しました。しかし、8月1日には、7トンもの一次冷却水漏れ事故を起こし、原因究明もまだの状況です。

私たちは7月29日に滋賀県を、今日は長浜市を訪問し「運転再開に反対を表明され、それを実効力あるものとするために、関電への申入れ等万全の取り組みを実行していただくよう強く要望」するものです。

長浜市の北部の避難対象地域には、9,390世帯、約24,200名の住民が暮らしています。

私たちは、「湖北原発ゼロの会」の皆さんの協力を得て、昨年10月に美浜3号が運転を停止した翌日の10月24日から、長浜市の避難対象地域で戸別訪問を行ってきました。一軒一軒「こんにちは」と玄関先で声をかけ、チラシを渡しながらか住民の皆さんと話をしてきました。今年7月までに延べ15回、7,000世帯を超え、避難対象地域の75%を回ってきました。

住民の皆さんからは、「避難のことを聞きたかった。何も知らない」、「福島事故を思うと原発だけは反対」、「寝たきりの家族がいるので、避難などできない」「滋賀県は被害だけ。再稼働の決定権がないのはおかしい」、「琵琶湖や余呉川が汚染されたら生活できない。米も作れない」等々の多くの反対や不安の声を聴いてきました。運転に賛成する声はほんのわずかでした（別紙「参考資料」参照）。

他方、関電の原発では事故が頻発しています。高浜原発3・4号では、6回も立て続けに蒸気発生器細管の損傷事故が起きています。大飯原発4号では6月に、原子炉の起動・停止時に使うポンプの配管に穴があき、冷却水が漏れていました。「1993年の営業運転開始以降、この配管は一度も交換していない」と報じられています。このような関電の安全性軽視の姿勢では、取り返しのつかない事故が起こるのではと強く危惧します。とりわけ40年超えの老朽美浜3号では、圧力容器は取り替えることはできず、電気ケーブルの老劣化も把握できず、配管も全てを取り替えているわけではありません。

戸別訪問で聴いた住民の皆さんの声を伝えながら、質問と要望をお送りしますので、回答くださるようお願いいたします。

質 問 事 項

1. 戸別訪問で聴いた住民の皆さんの声

戸別訪問では、避難先については、大多数の住民が「知らなかった」「聞いていない」と答えられています。また、福島原発事故の惨事から「原発の運転だけは反対」、「体が悪いので避難はできない」「事故になれば琵琶湖は避難できず汚染される」「余呉川も汚染され、コメ作りもできない」「コロナ禍で避難できるのか」等々の反対や切実な不安の声を聴いてきました。2020年の住民説明会は参加者が限られ、住民の意見を聞いたとは言えない状況であることが、戸別訪問でもはっきりしました。

(1) このような住民の皆さんの不安や反対の声をどのように受け止めますか？

【回答】原子力発電所の稼働の有無に関わらず、原子力施設が近隣市にある以上、原子力防災に取り組んでいく必要があります。住民の方の不安が少しでも低減できるように引き続き原子力防災力の向上に取り組んでまいります。また、原子力事業者に対しても引き続き安全対策の徹底を強くお願いしてまいります。

(2) 美浜3号の運転再開については、住民の切実な声や意見を汲み上げる取り組みが必要ではないでしょうか？

【回答】原子力事業者に安全対策の徹底をしていただくために、原子力発電所の運転に不安の声があることを引き続き原子力事業者に伝えてまいります。

2. 長浜市民の避難所公表について

長浜市北部は、美浜原発3号に関して初めて事故時の避難対象区域に入りました。しかし、県内避難先については、下図のように避難先市のみを公表し、避難所は公表していません。また、県外避難先の大阪府については、公園等の「拠点避難所」しか公表していません。

高島市や福井県及び京都府の避難対象地域では、以前から避難所名と住民のマッチングが公表されています。今年4月19日の長浜市への申入れ時には、避難所のマッチングは昨年3月には完成しているとのことでした（草津市30施設、甲賀市75施設、東近江市33施設）。

戸別訪問では、避難先の市についてさえ、ほとんどの市民は「知らない」と答えていました。

どの避難所にいくのかは防災の基本的情報です。長浜市民の地区ごとの避難所名を早急に公表すべきではないですか？

【回答】現在県内避難先の公開に向けて滋賀県および3市と調整を行っております。調整完了次第速やかに公開を行う予定です。

旧市町名	小学校区	世帯数(人口)	県内避難先	避難所名	県外避難先	避難所名
西浅井町	塩津、永原	1,401 (3,680人)	東近江市	?	大阪市 長居公園	?
余呉町	余呉	1,202 (2,866人)			岸和田市等	
木之本町	杉野、高時、伊香具の一部	2,777 (6,512人)	甲賀市		泉大津市等	
	木之本、伊香具の一部				堺市等	
高月町	高月、七郷	2,312 (6,342人)	草津市		富田林市等	
	富永、古保利	1,143 (3,209人)			東大阪市等	
湖北町	小谷、速水	555 (1,589人)		大阪市 長居公園		
美浜原発事故時 避難住民 合計		9,390 (24,198人)	(滋賀県「地域防災計画 資料編」2022.5.11等より)			

3. 前回4月19日の申入れで確認してもらった事項について

(1) 社会福祉施設の避難先が決まっていないことについて、市が「調査し指導する」とのことでした。調査や指導は実施されましたか？

【回答】避難計画を策定されているかの状況調査を実施した結果、計画が策定されていない施設が多数ございました。今後関係課と連携して計画を策定いただけるように働きかけをしてまいります。

(2) 事故時の甲状腺モニタリングは、国の指針の19歳以下ではなく、「20歳以上の希望者について県を通して国に問い合わせたい」とのことでした。問い合わせた結果はどうでしたか？

【回答】県からは、「災害の状況や規模によって変わることはあるが、基本的に20歳以上の方は希望者であってもモニタリングの対象とはならない」と回答がありました。

(3) 内閣府の、車両の流水除染は、拭き取り除染と比較し優位性はないとの試験について、「県を通じて国に問い合わせる」とのことでした。問い合わせた結果はどうでしたか？

【回答】県を通じて問い合わせた結果、接地面では拭き取り除染と流水除染で有意な差があるのかということについては言及がありませんでした。タイヤについては、古さ新しさでなく材質に視点をおいて調査をしておりますとの回答がありました。

要 望 事 項

1. 美浜原発3号の運転再開に関して、長浜市民の意見を汲み上げる取り組みを早急に実施すること。

2. 長浜市民の避難先について、地区ごとの避難所名を早急に公表すること。

3. 8月の美浜原発3号の運転再開に反対を表明すること。その表明を実効力あるものとするために、関電への申入れ等万全の取り組みを実施すること。

2022年8月8日

避難計画を案ずる関西連絡会



(連絡先団体：グリーン・アクション/ 原発なしで暮らしたい丹波の会/ 脱原発はりまアクション/
原発防災を考える兵庫の会/ 美浜の会/ 避難計画を考える滋賀の会)

この件の連絡先：避難計画を考える滋賀の会